

スノーモンキー写真展 Vol.2

Snow Monkey Photo Exhibit Vol. II



©萩原敏夫 HAGIWARA Toshio

出品者(50音順)
今井寿雄 IMAI Toshio
井村淳 IMURA Jun
岡田裕介 OKADA Yusuke
小原玲 OHARA Rei
刈田栄一 KARITA Eiichi
小林英樹 KOBAYASHI Hideki
小林洋子 KOBAYASHI Yoko
庄司桂子 SHOJI Keiko
高橋よしてる TAKAHASHI Yoshiteru
戸塚学 TODUKA Gaku
萩原敏夫 HAGIWARA Toshio
樫本康孝 HITSUMOTO Yasutaka
福田幸広 HUKUDA Yukihiko
前野やすし MAENO Yasushi
松成由起子 MATSUNARI Yukiko
特別出品 (有)ジブトリマーズ JIB TRIMMER'S

山ノ内町立 SHIGA KOGEN ROMAN MUSEUM

志賀高原ロマン美術館

2009.12.19 (Sat) — 2010.4.11 (Sun)

開館時間 Hours / 9:00 ~ 17:00 (入館は16:30まで) Admission is until 16:30

休館日 Closed / 木曜日 Thursdays

(ただし12月31日、2月11日は開館 Except December 31, February 11) ※年末年始は無休

入館料 Entrance Fee / 大人 Adults ¥500 (¥450)

小中学生 Elementary & Junior High School Children ¥300 (¥250)

※()内は20名以上の団体料金 (Groups of over 20 people)

〒381-0401 長野県下高井郡山ノ内町平穏1465 (上林温泉)
1465 Hirao, Yamanouchi-machi, Shimotakai-gun, Nagano, 381-0401, JAPAN
TEL:0269-33-8855 FAX:0269-33-8825 URL: <http://www.i4.ocn.ne.jp/~sroman/>



- 長野新幹線長野駅から、長野電鉄湯田中駅下車、志賀高原方面バスにて上林(かんばやし)下車、徒歩1分。または駅からタクシーにて8分。
- 上信越自動車道、信州中野I.C.から国道292号線(志賀中野線)経由15分。駐車場60台。
- By Train: From Tokyo, take JR's Nagano Shinkansen to Nagano, the last station of the line. Then change to Nagano Dentetsu Line. Take the Nagano Dentetsu to Yudanaka, the last stop of this private line. At Yudanaka, either take a bus to "Shiga Kogen Homen" and get off at "Kanbayashi" (1 minute on foot to the museum) or take a taxi straight to the museum from the station (8 minutes).
- By Car: On Joshinetsu Expressway, go to Shinshu Nakano Junction (IC). Then take Route 292 (Shiga-Nakano Line) to the Museum in Kanbayashi. Estimated driving time from the Junction is approximately 15 minutes. 60 parking spaces are available.

スノーモンキー

Services offered during the Snow Monkey Campaign

キャンペーン

スノーモンキー写真展の会期中、
各種サービスがご利用になれます。
この機会にぜひ、写真作品を鑑賞し、
実際に野猿公園を訪ね、
じっくり野生のサルと向き合ってみませんか。

※木曜日は野猿公園を除いて各施設休業のため、ご利用になれません。

During the Snow Monkey Photo Exhibit Vol. II, we will be offering several services to make your visit more satisfying. This is a great opportunity not only to enjoy photographic images presented by 15 Japanese wild life photographers but also to actually observe wild Snow Monkeys at the Jigokudani Wild Monkey Park.

※No services will be offered on Thursdays at the Museum, Restaurant Crystal Terrace, or Gosetsu-no-Yakata EXCEPT at the Jigokudani Wild Monkey Park.

近隣施設の相互割引 Special Discounts

- 志賀高原ロマン美術館 Shiga Kogen Roman Museum
〈大人 Adults ¥500→¥400〉 〈小中学生 Elementary & Junior High School Children ¥300→¥250〉
- 地獄谷野猿公園 Jigokudani Yaen Koen (Wild Monkey Park)
〈中学生以上 Junior High School Children & Above ¥500→¥420〉 〈5歳以上 Children over 5 years old ¥250→¥210〉
- 豪雪の館 Gosetsu-no-Yakata (Traditional Japanese Mansion)
〈大人 Adults ¥310→¥260〉 〈小中学生 Elementary & Junior High School Children ¥160→¥110〉
- レストランクリスタルテラス Restaurant Crystal Terrace
〈食事10%引き Meals 10% off〉 〈ソフトドリンク100円引き Soft Drinks ¥100 off〉 ※臨時休業する場合があります ※Unscheduled closures may occur.

上記4施設のうち2カ所以上をご利用いただいた場合、割引になります。

最初にご利用になる施設の受付で、スノーモンキーキャンペーンに参加する旨申し出てください。

Shiga Kogen Roman Museum, Jigokudani Yaen Koen (Wild Monkey Park), Gosetsu-no-Yakata (a traditional Japanese house typical in the snow country), and Restaurant Crystal Terrace in cooperation will offer special discounts for visitors who use more than two facilities of the four mentioned here. When you enter for the first time into any one of these facilities, at the ticket booth, please ask for the Snow Monkey Campaign Ticket. It will ensure your eligibility to receive these discounts at the designated establishments listed above.

ロマン美術館でのサービス

荷物預かり Cloak Service

美術館に入館された方は無料で荷物をお預かりします(貴重品を除く)。

We will offer a cloak service, free of charge, for the Museum visitors. (Please carry valuables with you.)

インフォメーション Information

近隣の地図、バスの時刻、リアルタイムなサルの入浴状況などをロビーに掲示します。

Maps of the neighboring areas, bus schedules, Snow Monkey's real time bathing situations in the Park will be offered at the Museum.

■主催/山ノ内町立志賀高原ロマン美術館 ■協力/(株)地獄谷野猿公園 志賀高原リゾート開発(株) ■後援/JR東日本長野支社 長野電鉄(株) 信濃毎日新聞社 SBC信越放送 NBS長野放送 TSBテレビ信州 abn長野朝日放送 北信タイムス 北信ローカル・リフレ テレビ北信ケーブルビジョン(株) 山ノ内町観光連盟 志賀高原観光協会 (財)和合会

スノーモンキー写真展 Vol.2

Snow Monkey Photo Exhibit Vol. II

当館から30分ほど歩いた志賀高原の山麓に、野生のニホンザルを間近に観察できる地獄谷野猿公苑があります。冬の厳しい寒さを凌ぐため、ここではいつしかサルが温泉に入るようになりました。雪の中で暮らすその珍しい姿は多くの写真家たちの心を動かし、被写体となります。そして絶妙のタイミングと構図によって捉えられた写真の数々は、発表されるやいなや世界に衝撃を与えたのです。以来、野猿公苑のサルは「スノーモンキー」と呼ばれ、海外からも脚光を浴び続けています。

本展は、長年にわたり野猿公苑に通う写真家たちが撮影したサルの姿をご紹介します企画の第2弾です。約100点の作品を通して、野生動物の生命力はもちろん、一瞬を切り取る写真の潔さと、力強さを感じていただけることでしょう。

出品者プロフィール (50音順)



今井 寿雄 IMAI Toshio

1944年埼玉県生まれ。1974年本市に写真スタジオを設立し、現在に至る。
(社)二科会写真部会員 (社)日本写真家協会会員 日本自然科学写真協会会員
写真集：『〈家族〉ニホンザルの群を追いかけて』クレオ、1998年
個 展：『〈家族〉ニホンザルの群を追いかけて』(1998年、東京銀座コダックフォトサロン)
(1999年、長野市、メルバルクギャラリー)
『北国の猿』(2004年、東京銀座ギャラリーアートグラフ)



井村 淳 IMURA Jun

1971年生まれ。横浜市在住。日本写真芸術専門学校卒業。
風景写真家、竹内敏信氏の助手を経て独立。「野生」を大きなテーマとし、アフリカを中心に世界の野生動物と日本の四季の自然風景を求めて活動中。
(社)日本写真家協会会員
http://home.q07.itscm.net/jsworld/INDEX.html
写真集：『あざらしまご』春陽堂書店、2009年



岡田 裕介 OKADA Yusuke

1978年埼玉県生まれ。大学在学中にアジア及び日本を放浪。
卒業後、フォトグラファー山本光男氏に師事し、2003年よりフリースランスフォトグラファーとして活動。
沖縄・石垣島移住を経て、現在は東京を拠点に、水中、自然、人物と幅広い分野で活動中。
http://www.yusukeokada.com/
写真集：『KOTARO』SHIBUYA PUBLISHING & BOOKSELLERS、2008年



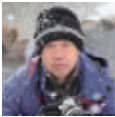
小原 玲 OHARA Rei

1961年東京都生まれ。世界の紛争地などを巡る報道写真家として内外の雑誌で活躍したのち、アザラシの赤ちゃんとの出会いから動物写真家に転身。最初の写真集『アザラシの赤ちゃん』(ネスコ／文藝春秋、1990年)は日本でのアザラシブームの火付け役となった。19年間におよびカナダ東部での流水取材により地球温暖化の目撃者となり、流水の減少とアザラシの赤ちゃんへの影響を報告している。
http://www.reiohara.com
写真集：『水のゆりかご』宝島社、1994年
『螢—light of a firefly』ワニブックス、2002年
『流水の物語—アザラシの赤ちゃん』河出書房新社、2007年 他多数



刈田 栄一 KARITA Eiichi

1951年新潟県生まれ。野生のニホンザルの魅力にひかれ、長年に渡って撮り続けている。小学校卒業生にニホンザルや写真の面白さ、また自分の写真人生などを講演。
(社)日本写真家協会会員 日本自然科学写真協会会員
個 展：『野猿が私を呼んでいる!』(2007年、東京銀座富士フォトサロン、新潟市美術館、新潟県立近代美術館) (2008年、富士フィルムフォトサロン札幌) (2009年、富士フィルムフォトサロン仙台)
写真集：『野猿が私を呼んでいる!』考古堂書店、2006年
『こんにちには!おさるのあかちゃん』考古堂書店、2007年



小林 英樹 KOBAYASHI Hideki

1942年埼玉県生まれ。神奈川大学工学部卒業後、趣味で写真を撮る。
受 賞：1977年 キャノンマンズスリーアルバム最優秀賞受賞
1982年 カメラ毎日コンテスト年度賞受賞
1986年 京セラハイスピード写真コンテストグランプリ受賞
1994年 第42回二科展 リコニ賞受賞
展覧会：『サルも温泉が好き』(2006年、ギャラリー HORI)
写真集：『LIFE 地獄谷に生きる』風景写真出版、2008年



小林 洋子 KOBAYASHI Yoko

茨城県出身、カリフォルニア在住。カリフォルニア大学歴史学部ヨーロッパ中世史修士。
2002年より「小さな球の上で*」シリーズとして、アメリカやアフリカの自然、動物を撮影、発表している。特に昨年から、アメリカ全土を回る事を目標に活動。2009年9月3日、アメリカ50州訪問の旅を完了。アメリカ大陸「も」、大きい。この所、取材が先になって、他のことに手が廻らない。本にまとめる時間が欲しい…
*詩人谷川俊太郎氏の好意により「20億光年の孤独」より引用。(角川書店発行)
http://yokobblueplanet.blog112.fc2.com



庄司 桂子 SHOJI Keiko

岩手県盛岡市生まれ。ライフワークとして、世界の子供たち、中国の人々、野猿公苑のサル、花を撮り続けている。
(社)日本写真家協会会員 (社)日本写真協会会員 NHK文化センター講師
個 展：『クレヨン色の子供たち』(1991年、富士フォトサロン) (1993年、第4回東京都平和の日記念写真展) (1994年、銀座・名古屋・札幌・大阪梅田の各キャノンサロン) (2004年、富士フォトサロン) 他多数



高橋 よしてる TAKAHASHI Yoshiteru

1965年千葉県生まれ。16歳の時、旅行で訪れた釧路湿原でタンチョウに出会い、写真を撮り始める。写真専門学校を卒業後、製版業を経て、本格的に写真活動に入る。現在は、国内外で四季折々に変化する自然や、たくましく生きる野生動物などを精力的に撮影。
http://www.y--t.com/
写真集：『100%Smile—流水とアザラシの赤ちゃんと』エクスナレッジ、2002年



戸塚 学 TODUKA Gaku

1966年愛知県生まれ。高校3年生の時写真に興味を持ち、20歳でアカゲラを偶然撮影できたことから野鳥の撮影にのめり込む。以後、野鳥を中心に野生生物や自然風景を撮影。現在は野鳥にとどまらず、生き物を含めた環境の撮影を進行中。
日本野鳥の会会員 西三河野鳥の会会員 NPO法人希少生物研究会会員
http://happybirdsday.jp/
写真集：『鳥たちは今日も元気に生きてます!』文一総合出版、2008年



萩原 敏夫 HAGIWARA Toshio

長野県下高井郡山ノ内町の地獄谷野猿公苑入社。写真は学生時代からの趣味だが、熱心に野猿公苑に通ってくる写真家と親交を深めるうち、より積極的にサルたちの写真を撮影するようになる。
http://toshi.chu.jp/
受 賞：2006年、米国ネイチャーズ・ベスト国際写真コンテストにてグラン・プリ受賞 他2点も入賞
著 書：『おサル王国 〜地獄谷野猿公苑の四季〜』講談社、2007年
個 展：『おサル王国〜地獄谷野猿公苑の四季〜』(2008年、キャノンギャラリー)



樫本 康孝 HITSUMOTO Yasutaka

1968年、愛知県名古屋生まれ。1992年、日本ジャーナリスト専門学校フォトジャーナリスト専攻科卒業後、写真家、樋口健二氏に師事。以後同氏主宰の「カトレア会」会員。
個 展：『四季変幻・多摩川』(1998年、オリンパスギャラリー)
『多摩川』(1998年、奥多摩ビジターセンター)
『多摩川|秋冬幻想』(2001年、ギャラリー 蔵蔵)
『多摩川|春夏幻想』(2001年、ギャラリー 蔵蔵)



福田 幸広 HUKUDA Yukihiro

1965年生まれ。日本大学農獣医学部卒。モットーは「山もいいけど、海もいい!」自然があればどこでも楽しい。好きな場所や動物がいる場所ですっきりと時間をかける撮影スタイル。地獄谷では1999年以來定期的に撮影を続けている。
http://www.fukudayukihiro.com/
受 賞：2002年、米国ネイチャーズ・ベスト国際写真コンテストにて風景写真部門入賞
2003年、米国ネイチャーズ・ベスト国際写真コンテストにて動物写真部門最優秀賞受賞
写真絵本：『子ザルのいちねん』小学館、2009年



前野 やすし MAENO Yasushi

1949年埼玉県生まれ。東京写真専門学校(現:東京ビジュアルアーツ)卒業後、アシスタントを経てフリーカメラマンに。マリンスポーツにおける第一人者であり、ウィンドサーフィンでは世界選手権のオフィシャルカメラマンを務めた。1989年より動物写真家に転向し、激減する野生動物の姿を撮り続けている。
(社)日本写真家協会会員 野生動物写真協会顧問
http://www.maeno-yasushi.com/
個 展：『サバンナの熱い風』(1999年、ペンタックスフォーラム)
『動物たちの楽園』(2003年、代官山フォトギャラリー)
写真集：『サバンナの熱い風—アフリカ野生動物写真集』新紀元社、1999年



松成 由起子 MATSUNARI Yukiko

名古屋生まれ。子供のころよりたくさんの動物とともに育つ。南山大学文学部在学中にアフリカで野生の動物たちの姿を見て感動し、その後アラスカ、ネパール、アメリカ、ボリネオなどの動物を見てまわる。
(社)日本写真家協会会員
http://matsunari.com
個 展：『Dear Little Monkey』(2001年、キャノンサロン)
『Happy Monkey Time』(2007年、富士フォトサロン)
写真集：『にほんざるのあかちゃん 大きくなったよ』ひさかたチャイルド、2005年
『ハッピーモンキー』青菁社、2007年 他

特別出品

(南)ジブトリマーズ JIB TRIMMER'S

テレビ番組・映像ソフト・企画制作
http://jibjib.jp/

設計：黒川紀章建築都市設計事務所



山ノ内町立

SHIGA KOGEN ROMAN MUSEUM

志賀高原ロマン美術館

〒381-0401 長野県下高井郡山ノ内町平穏1465 (上林温泉)
1465 Hirao, Yamanouchi-machi, Shimotakai-gun, Nagano, 381-0401, JAPAN
TEL: 0269-33-8855 FAX: 0269-33-8825 URL: http://www14.ocn.ne.jp/~sroman/